

今年度の雇用促進・就労定着プロジェクトが始動しました！

「雇用促進・就労定着プロジェクト」は、企業の抱えているニーズを基に、企業同士のつながりを活かし、企業側から地域の障がい者雇用や就労支援制度に働きかける仕組みを作ること、自社の雇用や在職者の定着の充実に、昨年度から取り組みをはじめました。

今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、スタートが遅れてしまいましたが、昨年度の四役と事務局で集まり、今年度の活動についての打ち合せを行いました。

昨年度は立ち上げから実質半年程の間で、「企業から求職者へ」、「企業から福祉へ」と外部に発信する取り組みが多い1年となりました。就職を目指すご本人や関係機関、雇用を考える企業など、地域の皆さまと共に「働く」について考えるきっかけとなる取り組みになったのではないかと思います。



柏寿協会の安達さん



(株) 帯広ガスの広瀬さん

H31 年度プロジェクト四役の皆さん



コムニの里更別の荻原さん



(株) オカモトの白川さん

☆昨年度の主な活動を紹介します☆



昨年実施されたフェスの様子。当日は160名を超える方が集まりました。

①帯広市地域自立支援協議会 就労・社会活動部会

「企業が障がい福祉サービス事業所に期待すること」や「企業としての障がい者雇用に対する理念」などをテーマに発表しました。

②福祉サービス見学

就労を目指して福祉サービスを利用されている方々の様子やトレーニングの中でのサポート等の工夫を学ぶため、福祉サービス見学をしました。

③仕事の魅力発見フェス

就職を目指す障がいのある方に向け、職種の説明や仕事の体験を通じて仕事のイメージや興味を膨らませられるために、仕事の体験イベントを実施しました。

今回の打ち合せでは、今年度の取り組みについて率直に意見交換がされました。その中でプロジェクト内での学習会も実施し、雇用側の知識を高めるとともに、より良い対応が出来るようになることが課題であるとの声が上がりました。雇用現場での対応に関する事例検討や、福祉や行政の仕組みについての知識、実習や雇用前に必ず知っておきたい個別情報など、少ない時間で沢山のアイデアが出てきました。次回は7月中にプロジェクトの全体会を開き、今年度の方向性を決めていく予定となっています。



打ち合せの様子。たくさんのアイデアが飛び交いました。